

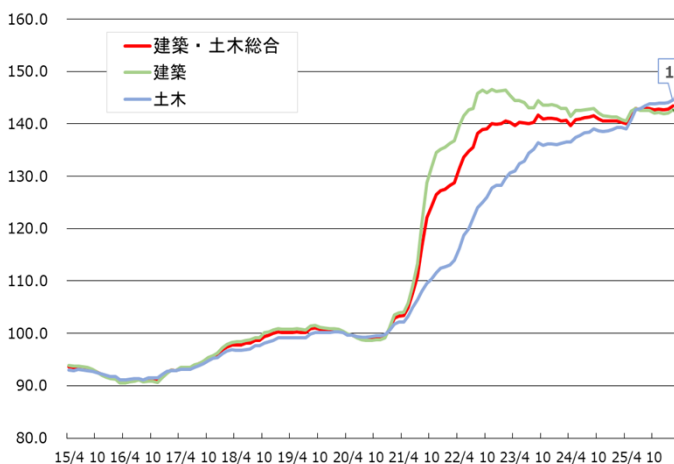
積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年2月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	143.4	+0.6	+2.8
建築	142.7	+0.6	+1.4
土木	144.6	+0.5	+5.3

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+18.8福岡●コンクリート二次製品：+6.6札幌、+1.8大阪●普通鋼鋼材：+0.4仙台・東京・新潟、+0.3福岡	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-1.5仙台、-1.3札幌、-1.2新潟・広島・高松・福岡、-1.0名古屋・大阪、-0.9那覇、-0.8東京
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+18.5福岡●コンクリート二次製品：+9.7札幌●普通鋼鋼材：+0.7仙台・新潟、+0.5東京・福岡	
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+19.4福岡●コンクリート二次製品：+5.4大阪、+3.3札幌●普通鋼鋼材：+0.1仙台・福岡	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-3.0仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡、-2.8札幌・新潟・高松、-2.2那覇

指数集計対象資材の市況

2月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.6ポイントプラスの143.4となり、過去最高値を更新した。また、建築指数は前月比0.6、土木指数は同0.5といずれも上昇し、特に土木指数は2カ月連続で最高値を更新している。これらの指標から、上昇幅は小幅ながらも資材価格は総じて緩やかな上昇基調が継続している状況がうかがえる。2月の指数上昇に大きく寄与したのは福岡地区の生コンクリート価格の上昇。生コンクリートは、協同組合が継続的な市況改善に向け、十分な周知期間を確保したうえで値上げを実施する動きが主要都市を中心に見られており、地区ごとの上昇頻度は高くないものの、全国的には今後も上昇基調が続くと予測される。そのため、足元の指数の上昇トレンドは、当面続くと思われる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212